

テレメータ <b>D3</b> シリーズ		
取扱説明書	Tリンク用 通信カード	形式
		D3-NF1

## ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

### ■梱包内容を確認して下さい

・通信カード .....1台

### ■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

### ■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

## ご注意事項

### ●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力  
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。  
交流電源：定格電圧 100 ~ 120 V AC の場合  
85 ~ 132 V AC、47 ~ 66 Hz、約 25 VA  
定格電圧 200 ~ 240 V AC の場合  
170 ~ 264 V AC、47 ~ 66 Hz、約 25 VA  
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合  
24 V DC ± 10 %、約 14 W

### ●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。
- ・本器のスイッチ類は、通電時に操作しないで下さい。スイッチによる設定変更は、電源が遮断された状態で行って下さい。

### ●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

### ●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

### ●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

## 取付方法

ベース（形式：D3-BS）、アドレス可変形ベース（形式：D3-BSW）、バックアップ電池対応ベース（形式：D3-BSB）をお使い下さい。ただし、通信カード（形式：D3-NF1）をベースに取付ける前に、下記の項目を行って下さい。

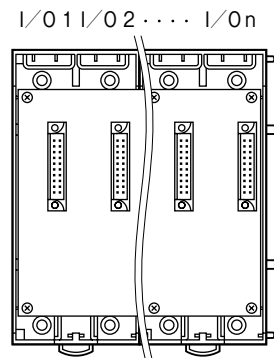
### ■伝送データの割付（スロット割付）

側面のスロット割付設定用ディップスイッチ（SW1、SW2）にて、スロットごとに入出力カードのデータエリア（データ数）を設定します。これにより、伝送データが割付けられます。

### ■ノードアドレス、入出力点数、入出力、ステータスデータ割付などの設定

必ずカードを取付ける前に、通信カードのノードアドレス、入出力点数、入出力、ステータスデータ割付などを設定して下さい。

### ■ベースへの取付



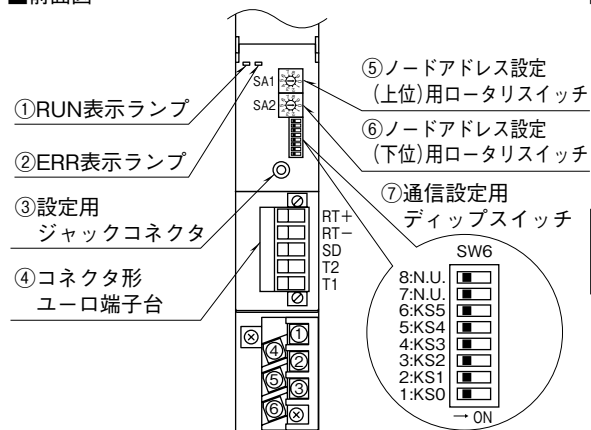
D3-BS、D3-BSB 使用時は、入出力カードは、I/O1 から順に実装して下さい（通信カードに対し、I/O1 から割付けられます）。

通信カード、電源カードは、全てのスロットに実装可能ですが、基本的には入出力カードの右側、またはベースの右側の実装して下さい。I/O1、I/O2 などに電源カード、通信カードを実装した場合、電源カード、通信カードが占有する入出力データエリアが使用できなくなります。

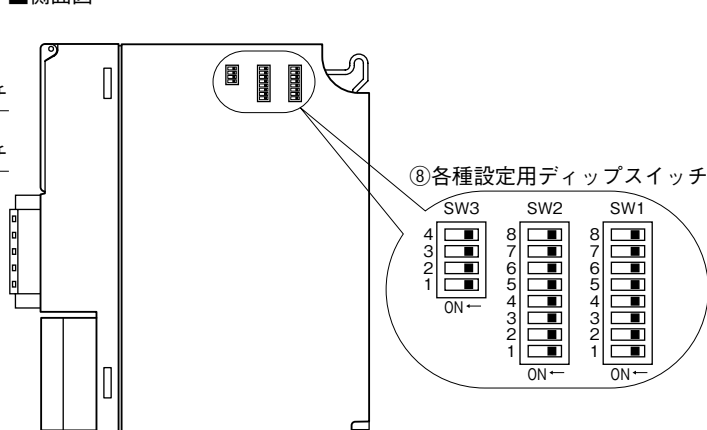
D3-BSW には、ロータリスイッチによりスロット番号が任意に設定することができます。これにより、実装するスロットを自由に変更することができます。

# 各部の名称

■前面図



■側面図



## ■前面スイッチの設定

### ●ノードアドレス設定 (SA1, SA2)

2個のロータリスイッチにより、ノードアドレスを設定します。(設定有効範囲：00～99)

### ●入出力点数設定 SW6-1～4 (KS0, 1, 2, 3)

SW	入出力点数			
	64点 (64ワード)	16点 (16ワード)	8点 (8ワード)	4点 (4ワード)
KS0	OFF	ON	OFF	ON
KS1	OFF	OFF	ON	ON
KS2	ON	ON	ON	ON
KS3	OFF	OFF	OFF	OFF

### ●入出力設定 SW6-5, 6 (KS4, 5)

SW	入出力		
	入出力混在	出力のみ	入力のみ
KS4	OFF	ON	OFF
KS5	OFF	OFF	ON

注) 出荷時の設定は全て“OFF”となっています。必ず、使用する入出力点数および入出力設定を行って下さい。また、未使用のSW6-7, 8は必ず“OFF”にして下さい。

## ■側面ディップスイッチの設定

(\* ) は工場出荷時の設定

### ●スロット割付の設定 (SW1, 2)

D3シリーズの入出力カードには、入出力点数により、占有エリア(データ量)の異なる4種のタイプがあります。このため、各スロットにどのタイプの入出力カードを実装するかをSW1およびSW2にて設定します。SW1およびSW2により、スロット1からスロット8を任意に設定することができます。スロット9以降はスロット8と同じタイプのカードとなります(各スロットの設定は、2ビットにて設定します)。

SW		占有エリア(データ数)
SW1-1	SW1-2	スロット1
SW1-3	SW1-4	スロット2
SW1-5	SW1-6	スロット3
SW1-7	SW1-8	スロット4
SW2-1	SW2-2	スロット5
SW2-3	SW2-4	スロット6
SW2-5	SW2-6	スロット7
SW2-7	SW2-8	スロット8
OFF	OFF	1
ON	OFF	4
OFF	ON	8
ON	ON	16

### ●機能設定 (SW3)

通信カードの機能を設定します。

#### ・メイン/サブ切替設定 (SW3-1)

テレメータ通信カード(形式：D3-LT□、D3-LP1)およびモデムインタフェースカード(形式：D3-LR□)と組み合わせてご使用になる場合は、必ず“ON：サブ”に設定して下さい。

テレメータ通信カードおよびモデムインタフェースカードと組み合わせず、PLCのスレーブとしてご使用になる場合は、“OFF：メイン”に設定して下さい。

SW	メイン/サブ切替	
	メイン	サブ
SW3-1	OFF	ON(*)

# D3-NF1

## ・入力データ設定 (SW3-2)

入力カードに異常が発生し、本器と通信ができない場合や、相手局との通信が途絶えた場合の入力値を設定できます。“OFF”に設定した場合は最終値で保持し、“ON”に設定した場合、通信が連続して異常(不可)のときに入力値を“0”にします。詳しくは、解説をご覧ください。

SW	入力データ	
	ホールド	“0”セット
SW3-2	OFF(*)	ON

## ・ステータスデータ割付設定 (SW3-3) \*1

入力エリアの最終2ワードにステータスデータを割付けます。

SW	ステータスデータ割付	
	なし	あり
SW3-3	OFF(*)	ON

## ・ランプ表示切替設定 (SW3-4)

前面のRUN、ERRのランプの表示内容を切替えます。

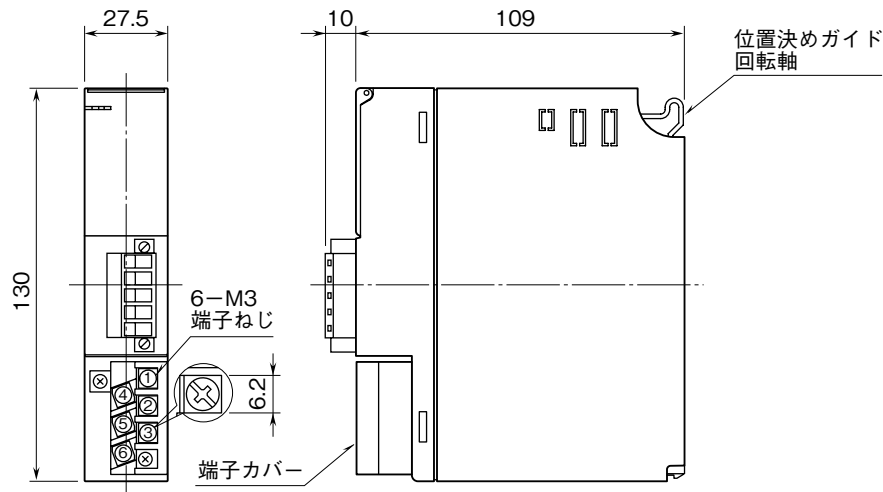
SW3-4	ランプ表示切替	
	RUN	ERR
OFF(*)	正常時 緑色点灯	異常時 緑色点灯/点滅
ON	データ受信時 赤色点灯	データ送信時 赤色点灯

\*1、ファームウェアバージョン 1.02 未満は無効となります。

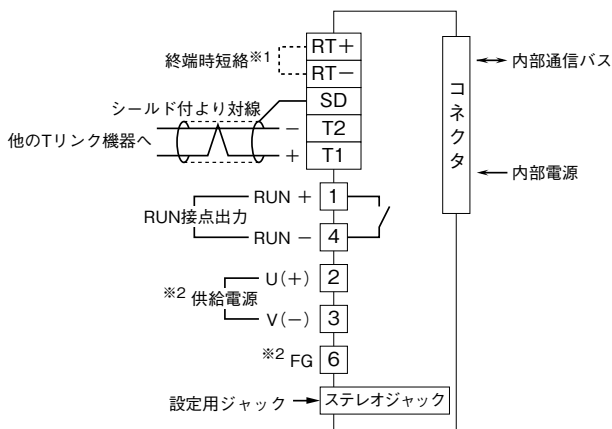
## 接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

### 外形寸法図 (単位: mm)



### 端子接続図



- ※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は(=渡り配線がない場合)、端子RT+, RT-間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子RT+, RT-間のショートチップをはずして下さい。
- ※2、供給電源回路なしのときは付きません。
- 注1) 渡り配線はT1、T2、SD端子を使って下さい。
- 注2) FG端子は保護接地端子 (Protective Conductor Terminal) ではありません。

## 配 線

### ■M3 ねじ端子 (供給電源・RUN 接点出力)

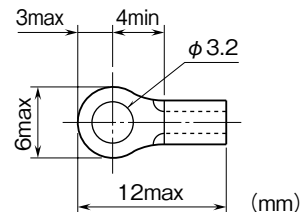
締付トルク: 0.5 N・m

### ●圧着端子

圧着端子は、下図の寸法範囲のものを使用して下さい。また、Y形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。

推奨圧着端子: R 1.25 - 3 (日本圧着端子製造、ニチフ)  
(スリーブ付圧着端子は使用不可)

適用電線: 0.75 ~ 1.25 mm<sup>2</sup>



### ■コネクタ形ユーロ端子台 (Tリンク)

適用電線: 0.2 ~ 2.5 mm<sup>2</sup>

剥離長: 7 mm

## 伝送データ

本器前面のディップスイッチにより、入出力点数と入出力設定、側面ディップスイッチによりステータスデータ割付の有無を設定することができます。

入出力データはスロット 1 から順に設定された占有エリアが割付けられます。設定したエリアを超えた入出力カードのデータは無効となります。

ステータスデータ割付ありの場合は、入力データエリアの最終 2 ワードのデータエリアを、ステータスデータとして使用します。ステータスデータ割付ありの設定は、ファームウェアバージョン 1.02 以上で有効となります。1.02 未満の場合は無効となり、SW3-3：OFF と同じ動作になります。

入出力データとエリアが重複した場合、ステータスデータが優先となります。

例えば、入出力点数が“16”で下記のように SW1、2 を設定した場合

スロット 1	4
スロット 2	4
スロット 3	4
スロット 4	1
スロット 5	1
スロット 6	1
スロット 7	1

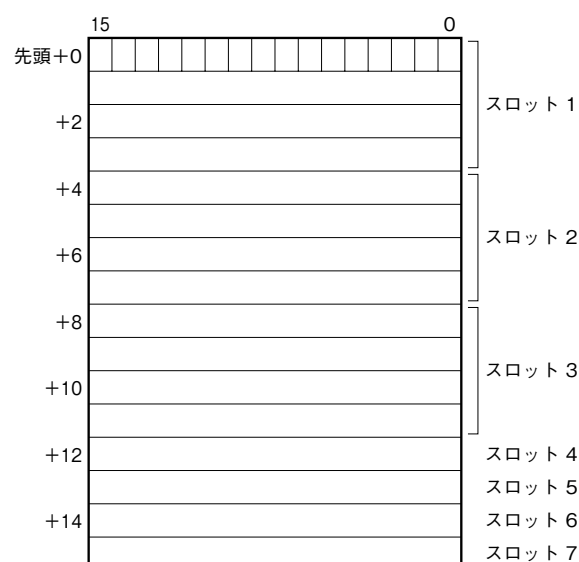
入出力データは次のように割付けられます。

### ■ステータスデータ割付なし（SW3-3：OFF）の場合

#### ●入出力設定：入力のみ、出力のみ

側面ディップスイッチ（SW1、2）により、スロットごとの占有エリア（データ数）が決まります。

この SW1、2 で設定されたデータ数が、スロット 1 から順に伝送データに割付けられます。

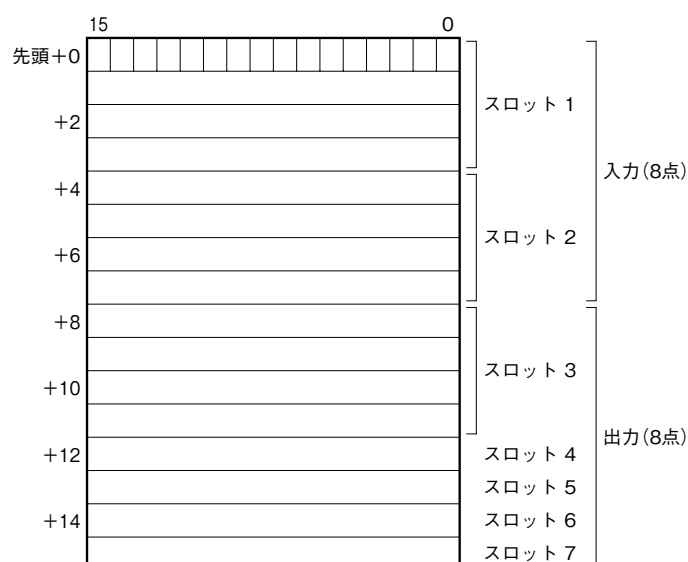


#### ●入出力設定：入出力混在

入力点数と出力点数は KS0～3 で設定された半分の数がそれぞれに割付けられます。

データエリアの前半が入力エリア、後半が出力エリアとなります。

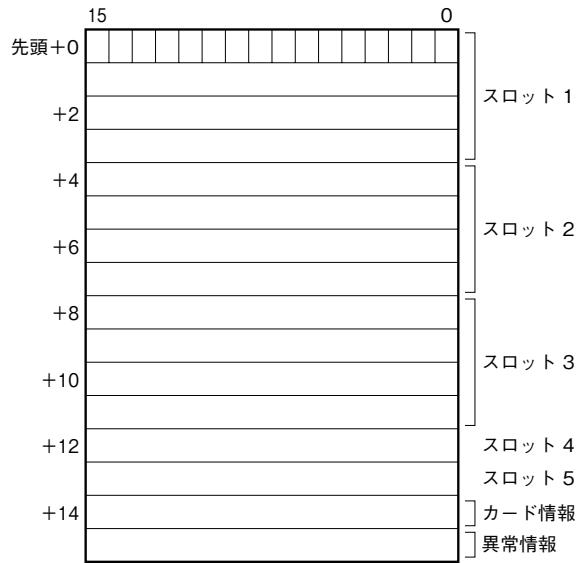
スロット 1、2 に入力カード、スロット 3 以降に出力カードを設定して下さい。



■ステータスデータ割付あり (SW3-3 : ON) の場合

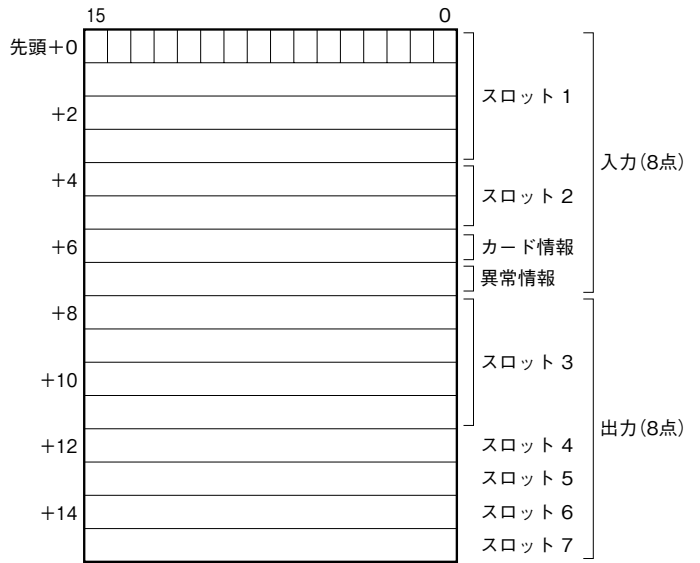
●入出力設定：入力のみ

エリアの最終2ワードにステータスデータが割付けられます。  
 スロット6、7のデータは無効となります。



●入出力設定：入出力混在

入力エリアの最終2ワードにステータスデータが割付けられます。  
 スロット2の3、4ワード目のデータは無効となります。



●入出力設定：出力のみ

入力エリアがないため、ステータスデータを割付けられません。  
 出力のみの場合は、ステータスデータなしでご使用下さい。

①カード情報

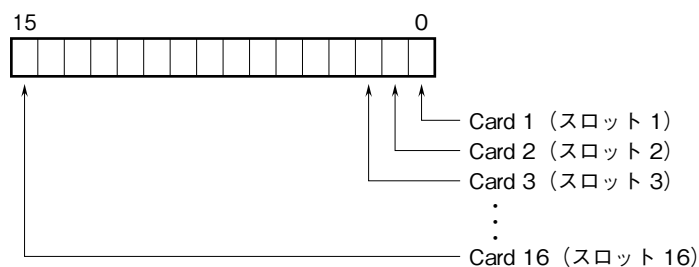
各カードの実装（有無）状態を示します。親局・子局の両方またはいずれかにカードが実装されている場合は、対応するビットが“1”に、親局・子局の両方にカードが実装されていない場合は、対応するビットが“0”になります。

②異常情報

- 各カードの異常を示します。
- ・D3-TS □、D3-RS □の入力がバーンアウト
  - ・D3-DA16Aの入力電源が異常、または未接続
  - ・D3-YS □の出力電流が異常（負荷未接続など）
  - ・D3-PC16Aの外部供給電源が異常、または未接続
  - ・各入力カードの入力値が-15%以下または115%以上の場合
- 上記の状態が発生した場合、対応するビットが“1”となります。

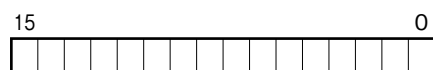
## 入出力データ

### ■カード情報、異常情報



各スロットの入出力カードの有無および異常を示します。

### ■アナログデータ（16ビットデータ長、形式：D3—SV4、YV4、DS4、YS4 など）



16ビットのバイナリデータ

基本的に、各カードで設定されている入出力レンジの0～100%を0～10000のバイナリ（2進数）で示します。  
-15～0%の負の値は2の補数で示します。

### ■アナログデータ（16ビットデータ長、形式：D3—RS4、TS4 など）

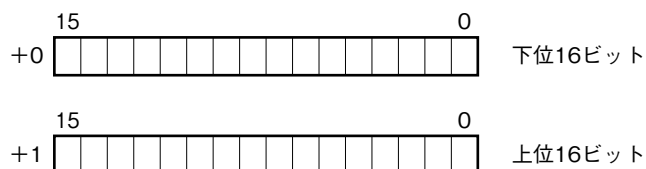


16ビットのバイナリデータ

基本的に、温度単位が摂氏（℃）の場合には10倍した整数部を示します。例えば、25.5℃の場合は“255”がデータとなります。また、温度単位が華氏（°F）の場合には整数部がそのままデータとなります。例えば、135.4°Fの場合は“135”がデータとなります。

負の値は2の補数で示します。

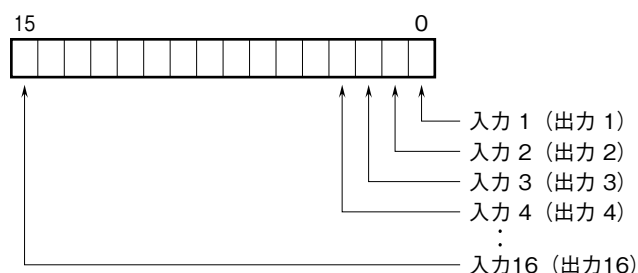
### ■アナログデータ（32ビットデータ長、形式：D3—BA32A、BC32A など）



BCDコードデータは、32ビット長のバイナリデータです。

低アドレスから順に下位16ビット、上位16ビットが配置されます。

### ■16点用接点データ（形式：D3—DA16、DC16 など）



0 : OFF

1 : ON

## コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。

コンフィギュレータソフトウェア（形式：D3CON）の使用方法については、D3CONの取扱説明書をご覧ください。

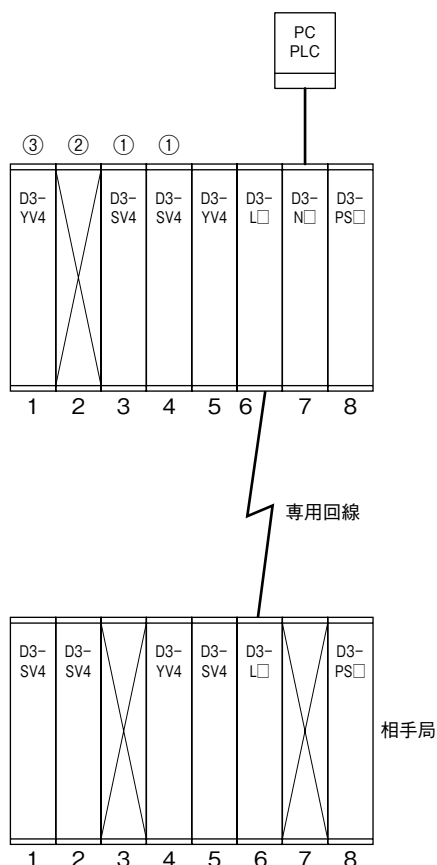
### 通信設定

項目	設定範囲	初期値
Time (未通信検出時間)	2~32000(0.1秒)	30(0.1秒)

## 解 説

### ■入力データ設定（SW3-2）について

入出力カードの構成による違いについて説明します。



- ①本器を実装しているベース上の入力カードの場合  
入力カードに異常が発生し、本器との通信ができない場合、“OFF”に設定したときは最終値で保持し、入力カードとの通信が再開されるまで入力データを更新しません。“ON”に設定した場合は、本器との通信が連続して異常（不可）のときに入力値を“0”にします。
- ②本器を実装しているベース上に出力カードがなく、相手局の同スロットに入力カードが実装されている場合  
相手局との通信に異常が発生した場合、“OFF”に設定したときは最終値で保持し、相手局との通信が再開されるまで入力データを更新しません。“ON”に設定した場合は、相手局との通信が連続して異常（不可）のときに入力値を“0”にします。
- ③本器を実装しているベース上に出力カードがあり、相手局の同スロットに入力カードが実装されている場合  
スイッチの設定にかかわらず、相手局との通信に異常が発生すると、最終値で保持し、相手局との通信が再開されるまで入力データを更新しません。

## 保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。